**5月27日　ピクスタ株式会社　代表取締役　古俣　大介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージなど**

今までとは企業の方向性も話の内容も違ったので大変面白かった。自分は高３の夏に建築家になることに気付けたから良かったけど、それまではどうしても進路が決まらず辛かった。だから今日古俣さんが伝えたかったメッセージはとても共感できた。自分の進むべき道に気付けば、すべきことも必要なことも、やらなくていいことも的確にわかる。自分の中にぶれない軸ができるから本当に大事なことだと思う。自分が何に進むべきかわからない人は中高生のときから「好きなことをやれ」とか「進路を決めろ、夢を持て」と言われて耳が痛くてまたかよと嫌になるかもしれないけれど、自分の道に気付けたら勝ちだと思う。だから私は建築家になります。(理工学部建築都市・環境系学科１年)

人生をリボーンしたいと思うようになったきっかけが、イスラエルを訪れていろいろな人と話をした事、孫正義さんの本を読んだ事だと聞き、やはり海外に赴いてみることは自分の価値観が変わる可能性もあるという点で大切だと思いました。また、本を読んで衝撃を受ける事もあるから、私も日頃から様々な本を読んでたくさんの刺激を受けたいと思いました。古俣さんが２年間は勉強に集中してインプットを重視していた事を少し公開しているとおっしゃっていたので、私は勉強して自分の知識を増やしながらも、積極的に自分からアクションを起こす事を忘れないようにしたいです。古俣さんは24歳で起業したけれど途中で何かが違うと感じ本当にやりたい事は何かを見つめ直したとおっしゃっていました。そしてその時に参考になったのが自分の原体験（小さい頃の体験）だった事だと聞き、わたしもじぶんがやりたい事が何なのか考える上で、自分の原体験を参考にしようと思いました。今回の講義で「自分のキャパの120～150%の目標を持って行動するべきだ」という古俣さんの言葉が印象に残りました。インターンシップをするにしろしないにしろ、常に目標は高く持っていこうと思いました！今回はすばらしいお話をありがとうございました。（経営学部　経営学科　１年）

私は将来自分で財団を立ち上げて、国際開発にたずさわりたいと思っています。しかし、最近なぜ私が国際開発の道に進みたいのか分からなくなっていたときに、今回の講義を受けることができ、自分の原体験をもとにもう一度私がなぜこの道に進みたいのか考えるきっかけとなりました。私の進みたい道のビジョンをはっきりさせるためにも、インターンを経験して“社会を知り、自分を知り、生きる意味を知る”ことが大切なのだと実感しました。今回の講義を通して、自分の神髄に触れるきっかけとなり、自分の将来のビジョンに向けて胸を張っていこうと思いました。（人文　１年）

今回の古俣さんは、今までこの授業で講義いただいた方々と同様に起業をなさっていますが、古俣さんは２度も事業の内容を変えられたとお話されました。ここで改めて仕事は　売り上げが大事なのではなく、自分の本当にやりたいことが“仕事”を決めるうえで大事なんだと思いました。また、ピクスタの国大生のインターンをした人の中には、大手企業の内定が決まってから、インターンをしている人もいて驚きました。私の中で、”インターン“というと、就職に有利になるからとりあえずやっとくか、というイメージがありました。しかし、この内定後にインターンしている人や今までご講演いただいた方々のお話を聞くと、インターンとは自分の可能性を広げる目的なんだと理解できました。今日まで私はピクスタの存在を申し訳ながら存じ上げなかったのですが、最後の事業内容をご紹介いただいて、とても活気であると思いました。今日はご講演本当にありがとうございました。（経済学部・国際経済２年）

横浜国立大学に入るまでは自分は自衛隊の幹部になる人間でした。諸事情により退官してしまいましたが、自衛隊に入ったことで国の安全保障に興味を持つようになりました。

どうしたら日本は血を流さずに済むか、どうしたら戦争を回避できるか等です。自分には留学生の友達がいます。日本ともめている中国と韓国です。特に中国とはいつ衝突が起きてもおかしくないのです。私は戦争で傷つく人を見たくありません。友人同士で殺し合いは地獄です。戦争を防ぐには互いのことをよく知ることが必要だと思います。自分は今、韓国と中国の友達から彼らの国について様々なことを勉強しています。彼らが日本のことをどう思っているか、日本人の印象、他にもたくさんありすぎて書ききれません。ただ、話して気づいたのは、個人レベルの交流はうまくいきます。良き友達になり、互いの国について理解できます。私の人生において、達成すべき目標は太平洋戦争が日本人が血を流した最後の戦争だったといえる日本にすることです。その目標を達成するために私は外交官か、再び自衛隊に戻りたいと思います。(経営.経営システム１年)

私は自分が目指すべき目標・目的をどのようにして発見・決定すればいいのか、またインターンを経験することによってどのようなメリットがあるのかということを学ぶためにこの授業に参加し、様々な経営者の方のお話をいただいているのですが、今日の講義でやはり成功者の方々が考えている基本的な部分は不変であるのだなと感じました。インターンをすることで『社会を知り、自分を知り、生きる意味を知る』という古俣さんのお言葉は、以前に来ていただいた経営者の方もおっしゃっていたので、この言葉はそれほどの重要性を持っているのだなと感じました。また、インターンを通して『自分の選択肢を増やす』というお言葉も聞いた覚えがありますので、選択肢の幅が少ない私にとっては意識を変える強いお言葉でした。あと、これは古俣さんを含めてお２人からしかお聞きしたことがないお言葉なのですが、『自分の原体験（過去）を元に進むべき道を決定する』というお言葉は目標・目的を定められずに悩んでいる自分にとって希望ややる気を与えてくれるものです。ぜひこの言葉を支えにして、私自身の目標・目的を決定し、突き進んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。　　　　　　(経営学部・経営学科1年)

　行動して得られるものが6.7割、知識は3.4割という言葉がとても印象に残りました。私は、まず知識を得て、それから様々な行動をしていこうと悠長に考えていましたが、行動して初めて気付くことも多いと痛感しました。また、一度辞めた会社の社長に様々な支援をしてもらったと聞いて、起業は一人では厳しく、人脈も大事だということがわかりました。また、インターンのミッションは最速で成長することというのも印象に残りました。まだまだ社会のことにも自分のことにも無知なので、自分の選択肢を広げるためにも、インターンをやる意味は大きいと感じました。（経営学部会計・情報学科　１年）

　１度起業に成功したにも関わらず、そこで満足することなく自身の本当にしたいことについて考え続け、もう１度最初から起業する意志の強さに感動しました。将来したいことが定まっていない今、「自分の原体験をもとに進む道を決めること」というお言葉と孫正義、スティーブ・ジョブズのお話には特に勇気をいただきました。国大生のインターンについて、内定が決まっていたにも関わらず起業したお話を聞き、就職と起業について深く考えさせられました。自分の本当にやりたいことを私自身も見つけられるように行動していきたいと思いました。（経済学部国際経済学科１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

今回だけでなく、この授業でお話しいただいく全員の方に言えることが、妥協しないということです。古俣さんでいえば、「（一緒に働いている）人はいいけれど、仕事がおもしろくない」「お金が入るようにはなったけど、達成感がない」と考えるところ。私であれば「片方叶うからしょうがないか」と諦めてしまう状況なのですが、もっと（いい意味で）貪欲に挑んでみようと思います。（教育人間科学部　人間文化課程１年）

前回の花房さん(注　花房氏は、古俣氏の下でインターンという「修行」をした後、起業した)の話を聞いたあとの古俣さんの講演だったのでインターンシップのことをより深く知ることができたように感じます。早めに自分の道を決めた方が成功に繋がると聞いて、また明確な目標を持てていない自分に焦る気持ちもありますが、そうであるからこそ早く自分を成長させることのできるインターンシップに参加し、自分の目標を定めていきたいなと感じました。（経営学部　会計情報学科１年）

　自分の体験、経験を増やしていくことが大学なんだなと感じました。人生で一番自由な時期（であるだろう）今をどれだけ充実した生活というか、実体験を増やしていくことが自分自身の糧になるし、自信になるし、結果として社会人になった時に役立つのだろうと思います。私は、自分で起業したい！と思ったことはないけれど、会社を動かす中心に入って、経営にかかわっていきたいと思っています。そのためにも、今インターン、留学、部活動など授業では学べない、自分で動くからこそ分かる何かを得ていきたいと思います。上昇志向！！（経営・国際経営　1年）

私は花房さんの起業過程の話を聞いて、自分の進みたい道が定まっている人は、自然と自分の進むべき道を歩むことになると思っていました。私も単に企業に入って、誰にでもできる仕事をみんなでともにやるのではなく、自分の道を自分で見つけたいと思いました。最後の話の中で、“自分の登りたい山を登る”という話がありましたが私もその山を見つけられるように、さまざまなことに挑戦していきます。原体験を豊かにするために、いま私はプレゼン、ディベートに興味があるので、自分の所属しているサークルをいかしてやりたいことを見つけたいです。（会計情報　１年）

授業スタッフの感想１

アンケートの集計をしてて、皆書く量が減ってきたとつくづく思う。意識の高い人と低い人の差が激しい。今回は得るものがなかったという人もいるが、人の話を聞いて何も得ることがないということはあり得ないと個人的には思う。あまり興味のない分野でも、自分から積極的に聞いていけば何かしらあると思う。成長できる人間というのは、常に自分から何かを挑戦するような人なんだろうなと感じた。

授業スタッフの感想２

今回は将来に向けてどのように生きていくかが納得のいく形で教えてもらえた気がします。全体を見るとプラスに受けとった人もいれば、自分にはやるべきことも夢といえることもない…とマイナスにとる人がいました。それは成功体験を含めた経験がないため自分の限界や能力値がわからないからというのも理由の一つにありそうだと思いました。やはり行動に出ないと何も分からないので迷ったら「やってみる」の方向に流れるのが私はいいと思います。「やらなかった」は「できないこと」になっていくとも思います。